

ふるさとは 遠きにありて 思ふもの
そして悲しく うたふもの (室生犀星)
なんでもない会話 なんでもない笑顔
なんでもないから ふるさが好き (俵万智)

ふるさをうたった歌は昔から数多くあります。
上の歌(厳密には詩の一節)と下の歌では、ふるさに対する考え方が異なっていますが、どちらにしても特別な思いがあることには変わりありません。

「ふるさとの思い出」と言えば、やはり小学校～高校の生活が中心になるでしょう。ちょうどこの5月、各学年でいろいろな学校行事が行われています。もちろん学習を疎かにすることは絶対ダメなのですが、学校行事にも積極的に参加してほしいと思います。ちょっとしたことでも、その思い出が将来大切なものになります。

「あとどのくらい、今の友達といっしょにいられるか？」
「あとどのくらい、この街にいられるか？」
考えてみれば、それほど長い時間ではない筈です。特に中学・高校は3年間と非常に短く、気づけばあっという間に過ぎ去ります。大人になって後悔しても、後の祭りです。いろんな行事には是非積極的に参加して、たくさんの思い出を作ってください。

